

庄原市一般廃棄物処理施設建設工事業務に係る受託候補者審査講評について

1. 選定結果

次のとおり、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定しました。

優先交渉権者	近畿工業 株式会社
次点交渉権者	エスエヌ環境テクノロジー 株式会社

2. 審査経過等

(1) 受託候補者選定審査会

専門知識を有する学識経験者及び行政職員で構成する「庄原市一般廃棄物処理施設建設工事業務に係る受託候補者選定審査会」（以下、「選定審査会」という。）を設置し、技術提案書の選定等に係る審査を行いました。

「選定審査会（順不同・敬称略）」

委員区分	氏名	役職等
内部委員	大原 直樹	庄原市 事務担当副市長
内部委員	矢吹 有司	庄原市 事業担当副市長
内部委員	加藤 孝	庄原市 総務部長
内部委員	山口 克己	庄原市 環境建設部長
外部委員	西村 和之	県立広島大学 生命環境学部 学部長
外部委員	川島 満	広島県 土木建築局営繕課 課長

(2) 審査概要

ア 応募資格審査

6者から提出された参加表明書及び応募資格確認申請書類により、配置する技術者に要求する資格及び業務実績等を確認し、全ての参加表明者が応募資格を有すると認められた。

イ 企画提案書類の基礎審査

5者（1者辞退）から提出された企画提案書類の内容について、提案書類間での齟齬及び一般要求事項に関する評価について点数化した。

ウ 価格提案審査

提案された価格について、価格評価点を算出した。

エ 技術提案審査

提出された技術提案書をもとに、4者（1者辞退）の技術対話を実施し、総合評価が高い順に優先交渉権者1者及び次点交渉権者1者の選定を行った。

「審査経過」

日付	内容	備考
平成30年11月21日	第1回選定審査会	実施スケジュール,実施要領の策定
平成30年12月25日	参加表明書等の受理	6者参加表明
平成30年12月26日	第2回選定審査会	審査基準,様式,発注仕様書の策定
平成31年 2月22日	企画提案書の提出期限	5者提出（1者辞退）
平成31年 4月17日	第3回選定審査会	基礎審査結果報告
令和元年 5月 9日	第4回選定審査会	技術対話（1者辞退）

3. 講評

(1) 総評

この度の庄原市一般廃棄物処理施設建設工事業務は、備北クリーンセンター（焼却）と東城ごみ固形燃料化施設（固形燃料化）の体制の異なった2施設を集約し、燃えるごみの適正処理の推進及び処理の効率化を図る目的で、新たな焼却処理施設を整備するものです。今回のプロポーザルは、必要な施設規模、ごみ処理方式、公害防止等を定めたうえで、提案者の専門的な知識やノウハウを踏まえた設計と施工を行うために技術提案を求めたものです。

審査に当たっては、施設の特性を踏まえ、施設の性能及び自主的な提案事項への配慮・工夫度合いを評価することとし、施設の配置計画・処理システム・施工計画・環境対策・維持管理計画及び地元への配慮について、技術提案書や技術対話をもとに、提案内容の的確性、独創性、実現性などを評価項目とし、価格の提案も含めて総合的な評価を行いました。

全般的に各提案とも、地域に親しまれる施設を目指し、安全で安定的なごみ処理の実現、環境に配慮した設備計画等を提案されており、本施設整備の目的を理解された技術提案でした。

最終的には、技術提案の内容に加え、技術対話などを踏まえて、標記のと通りの選定結果となりました。

(2) 優先交渉権者

優先交渉権者の技術提案は、施設の特性を良く理解した内容で、施設整備の基本方針に沿った提案となっていました。特に、施設計画及び配置計画に対しては、自動料金システムの導入など人員確保が難しい昨今に対応した提案をされていました。また、省エネ対策について具体的な方策を提案されるとともに、維持管理計画も年度毎の変動が少なく財政負担を軽減した計画をされているなど、全般的に非常に高い評価を得ました。設計に当たっては、車両動線において、車両のハンドル操作が複雑にならないよう、曲がりの動線について検討の余地があるとの意見がでました。また、提案された地元活用については、しっかりと履行して欲しいとの意見がありました。

(3) 次点交渉権者

次点交渉権者の技術提案は、シンプルな動線が計画されており、平面計画において高い評価を得るとともに、公害防止対策についても環境に配慮した提案であると評価を得ました。しかし、施設計画及び配置計画については、2箇所で計量事務が必要であること。また、緊急時に対する配慮の面で、優先交渉権者に劣る部分があったことから、両者拮抗した評価の中で、総合的にみてわずかに及ばない評価結果となりました。